

ハロウィン - お菓子を探し

10月31日はハロウィン。もともとは、秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出すという意味合いの行事でしたが、今では仮装を楽しむお祭りとして定着しています。このハロウィンを楽しもうと、院内託児所の子供たち22人がカボチャのお化けに仮装して、お菓子を求めて城西病院内を巡り歩きました。

子供たちは、託児所で仮装し、すっかりカボチャのお化けになった気分。みんなで手をつなぎ、城西病院の旧玄関口まで行列しました。入り口では、病院のお兄さん、お姉さんがお菓子を持って待ちかまえて、子供たちにプレゼント。そのあと、ニューヤマザキデイリーストア城西病院店で「トリック・オア・トリート」（お菓子がないといたずらするぞ）と呪文を唱えると、ストアのお兄さん、お姉さんから、いっぱいのお菓子がプレゼントされました。子供たちは託児所前に庭に戻り、プレゼントされたお菓子をおいしそうにほおぼっていました。

平成28年10月31日



院内託児所の子供たち22人が仮装して

